

平成28年度 石川県防災総合訓練 参加報告

～公共ブロードバンド移動通信システムを用いた情報収集などを実演等～

北陸総合通信局（局長：吉武 久）は、平成28年9月4日（日）、石川県及び七尾市主催により実施された石川県防災総合訓練に参加し、主会場である能登歴史公園内の当局及び協力機関のブースにおいて、以下の訓練・実演等を行いました。

（訓練・実演の概要）

1 臨時地デジ中継局の開設訓練

地上デジタル放送中継局が被災により機能停止したとの想定で、NHK金沢放送局が当局に電話で変更申請し、当局がこれを迅速に処理し、その後、NHKが非常用送信車を用いて代替中継局を開設する訓練を実施しました。

会場内では、実際にフルセグやワンセグのテレビで当該放送波を受信し、視聴できることが確認されました。



当局から貸与可能な災害対策用移動通信機器等の展示。



臨時災害放送局を模して訓練の様を生放送するラジオななおの臨時スタジオ

2 臨時災害放送局の開設訓練

七尾市が、被災者支援情報や生活関連情報を正確かつ迅速に伝達するため、地域のコミュニティ放送局であるラジオななおの協力を得て臨時災害放送局（FMラジオ放送局）を開局する訓練を実施しました。開局に先立ち、当局は特例措置により電話での免許申請を受け付け、迅速に処理する訓練を実施しました。ラジオななおでは、臨時災害放送局を模して訓練会場の様子を生放送しました。

3 災害対策用移動通信機器を用いた非常通信訓練

訓練会場において、当局防災対策推進室担当官が七尾市災害対策本部担当者に、当局のMCA無線機を貸与しました。また、石川県庁本庁舎において、別の当局防災対策推進室担当官が石川県危機対策課担当者に、当局のMCA無線機を貸与しました。そして、これら2台のMCA無線機を使用して、七尾市災害対策本部担当者が石川県危機対策課担当者を呼び出し、被災地の状況報告や救助要請等を行う非常通信訓練を行いました。

4 公共ブロードバンド移動通信システムを用いた情報収集の実演

株式会社日立国際電気と共同で、訓練会場内に、ビデオカメラ、アンテナ、テレビ（ディスプレイ）、無線機2台（移動局・基地局）等で構成された公共ブロードバンド移動通信システムを設置し、埋没家屋からの救出救助訓練などの模様を撮影して、情報収集の実演を行いました。このシステムに必要な電源は、当局的災害対策用移動電源車を稼働させて電力を供給しました。

この他、災害発生時に当局から貸与可能な災害対策用移動通信機器である簡易無線機、MCA無線機、衛星携帯電話の実機を展示しました。



公共ブロードバンド移動通信システムの移動局。接続されたビデオカメラで会場内の訓練模様を撮影し、基地局へ伝送。



谷本知事（訓練本部長）が当局ブースをご視察。
（左から二人目）

（谷本知事の反応）

当局ブースでは、自治体、事業者、防災関係者の方々に、移動通信機器の操作やテント内のテレビに映し出された訓練風景の鮮明な映像の視聴を体験していただきました。

訓練本部長の谷本知事も当局ブースを視察されました。

谷本知事は、停電時に災害対策用移動電源車が携帯電話基地局等へ給電することにより通信の応急復旧が可能であることを確認されました。公共ブロードバンド移動通信システムによる訓練模様の実況中継の映像が鮮明であることに感心されるとともに、移動局が携帯式で機動力を有する点も興味を持たれました。

災害対策用移動通信機器について、被災自治体から当局手持ちの無線機の配備を上回る貸出要請があった場合の対応を質問され、無線機は全国に3種類計約900台が配備されており、地域間で融通される仕組みを確認されました。

臨時災害放送局の可聴範囲についても興味を示されました。臨時地デジ中継局については「災害時にテレビが見られないのは情報が得られないのでこのような非常用送信車は重要であり、引き続き災害時に備えた準備をお願いしたい」と述べられました。最後に、谷本知事は訓練を総括する閉会式での挨拶の中で、情報通信技術の進歩が見られた旨述べられました。

今後も当局では災害発生に備え平時から関係機関との連携を強化するとともに、各種訓練に全力で取り組んでまいります。

お問い合わせ先：防災対策推進室 TEL 076-233-4479